

## 「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	令和2年2月17日（月）13:30～14:30		
会 場	ボランティアセンター	申込団体名	点訳サークルぽちぽち
参加者の意見 (1/3)	<p>●新庁舎の中に点字ブロック等が設置されると思いますが、はっきり分かるような色で、黄色や赤のような色が分かりやすいので、従来通りのものの設置をお願いします。</p> <p>●大きい病院に行きますと、行き先を示した色の線（フロアサイン）が導入されています。それは、視覚障害者やお年寄りの方にも、とても優しいことだと思うので、新庁舎に導入してください。</p> <p>●視覚障害者にとって、多目的トイレがどこをたどっていけばどこにあるかとか、一番困るのが、お水を流すボタンやレバーが統一化されておらず、一人で行った時やお手伝いの方がいない時は、流すという作業が大変なことになります。新庁舎の多目的トイレについて、そういうところも分かりやすくしていただければいいと思います。</p> <p>●現在、車椅子用・障害者用の駐車スペースが二台分ありますが、新庁舎においても、設置をお願いしたいと思います。車椅子の人で、自分で運転する人は、自分の車椅子を積み込むために、ドアを全開にしなくてはならないので、通常より幅広のスペースが必要になります。</p> <p>●私たちは、視覚障害者の理解のために、一年に一回、常総市役所で、アイマスク体験や生活の講話等を行っています。そういう身近なことを、いろいろな課の人たちが学んで、それを毎年行っていけば、市役所の皆さんが知ることになり、視覚障害者への理解が深まると思います。下妻でも、そういうことを福祉課や市長さんに考えていただいて、誘導の仕方とか、そういうことをやっていただければ、良いかなと思います。</p> <p>●障害を持っている方で、なかなか外に出られない方がいると思います。そういう方との「交流の場」があれば、いろいろな情報を得ることができるので、参加できる機会や対応をしていただきたいと思います。個人情報の問題もあって、私たちから直接伺いを立てたりとか、そこは難しいので、例えば、福祉課でつながりをもっていただけたら、良いと思います。外へ出られない方は、何も情報が耳に入らないと思います。</p>		

参加者の意見  
(2/3)

- 障害のある方が市役所の窓口等で聞く場合に、親切に教えていただけるような下妻市になっていただきたい。「障害には関与しません」と、言われるような対応をされる場合があります。何か、とても大変な人が来たという感じで構えないでほしい。この話は、難しい人が市役所に来たとか、選挙に来たということではなくて、普通にしていれば、問題はないと思います。選挙にしても、おおごとになってしまって、周りに人が集まってしまうことがあります。
- 選挙の際には、点字投票が認められていますが、点字器がかなり古く、正しく打つことが難しいものがあります。今は、新しい点字器も手頃に手に入るのです、できれば、そういうものを用意していただきたいです。以前、投票に行った時には、点字器がなかったので、私が持っていたものを使って、普通の投票用紙に打たせてもらいました。今後、「下妻は、選挙に行ったら、点字器が必ずあります」と言えるようにしていただきたいと思います。
- 選挙の投票に行くことは、障害を持っている人にとっては、勇気が要ることです。気軽に行ける投票所であって欲しいと思います。目は不自由でも、普通に暮らしているので、オーバーな誘導の仕方ではなく、必要な時に、必要なサポートしていただけるようお願いしたいと思います。
- 私たちは、公民館で、月一回、ボランティアの定例会をやっていますが、二階に上がる階段が非常に大変です。障害がなくても、高齢者の人が、「あの階段は登れない」と言っています。今、一階の奥の図書室をお借りしていますが、それもできなくなります。とりあえずは、砂沼荘を使わせてもらうことになりましたが、公民館に、二階に行く設備を取り付けることはできませんか？
- 砂沼荘がリニューアルオープンしましたが、外のトイレは、車椅子の人が入りにくく、狭すぎます。砂沼荘の中のトイレも、車いすが入るのには、狭いです。新庁舎は、そういうことが無いように、実際に、車椅子の方や目の見えない方の使い勝手を確認し、設置したら良いと思います。新庁舎のトイレの出入り口について、80センチの幅では、車いすは無理です。

参加者の意見  
(3/3)

- 「ほっとランドきぬ」のグラウンドゴルフ場は、市は関係ないでしょうけれども、障害者の人は、手帳があれば、去年の10月まで無料だったのが、350円になりました。月に4回行って、年間にしたら、何万となってしまいます。一般の人は、300円から350円になって、50円しか上がってないです。なぜ、障害者だけが350円をいっぺんに払わなきゃならないのでしょうか。
- 「ほっとランドきぬ」を利用する一般の高齢者は、年間5,000円を支払い、行く度に100円を支払います。障害者は、年払いはないけれど、今まで無料だったものが、行く度に200円を払わなければならないので、負担が大きいと思います。身体障害者手帳等は持っているけれど、毎日行くような人は、使用料金が高いです。年間5,000円を払って、行く度に100円の方が良いです。杖をつきながら行っている人を見ると、リハビリで行く度に200円払うのは大変だろうと思います。
- 援助や配慮が必要な方のための「ヘルプマーク」について、周知が進まないと、生きてこないと思います。先日、福祉課に行った際にも「ヘルプマーク」の案内がなかったのですが、「〇〇さん、こういうカードを知っていますか？」「お持ちですか？」ということをお願いです。市役所第二庁舎一階の入り口に、ヘルプマークを配布しますというポスターが掲示されていますが、そこに行けない人や実際にそれが見えない人、見た目では分からない病気を持っている人もいます。ポスターの掲示だけでは分からないので、来庁者に対する声掛けをしてもらいたいです。
- 「白杖（はくじょう）」を知らない職員がいました。「車いす」や「白杖」は基本的に知っていなければいけないことなので、もう少し、障害者に対して、勉強してほしいと思います。
- 建物や道路等、いろいろなことに対するバリアフリーがありますが、「心のバリアフリー」が備わった下妻になっていければ、良いと感じます。
- 耳の聞こえない人や目の見えない人の立場で、交通事故を無くすために、音響装置付き信号機を設置して欲しい。

市民協働課 扱